

令和7年度1学期分 東久留米市学校給食運営協議会議事録

開催日時	令和7年 7月10日(木) 午後3時00分～午後4時00分
会場	東久留米市役所 7階 703会議室
出席者	協議会委員：31名(欠席1名、付添参加3名) 事務局：教育部学務課
傍聴者	1名

【議事内容：要点記録】

1 座長、副座長の選出

- 東久留米市学校給食運営協議会設置要綱(以下、「要綱」という)に基づき、座長については委員による互選、副座長については、座長による指名をもって、次のとおり決定した。

座長：教育部学務課長 田口 純也

副座長：第一小学校副校長 阿部 啓子

2 学校給食運営協議会について

- 要綱に沿って、東久留米市学校給食運営協議会の目的、協議事項、委員構成、任期、開催時期について説明した。

3 小中学校給食の実施状況について

小中学校給食の実施状況について(小・中学校栄養士)

- 小学校給食の実施状況について(調理方式や献立作成、調理作業について)、続けて中学校給食の実施状況について(弁当併用スクールランチ方式、献立表の見方について、予約の方法、調理場の様子、あたたかい献立の提供について)説明した。

事故報告及びヒヤリハット事例報告(事務局)

- 昨年度1年間で、食中毒の発生及び異物混入は無かった。
- ヒヤリハット事例は、小学校で9件、中学校で5件だった。内訳は、髪の毛6件、金属片2件、ゴム片1件、プラスチック片1件、ビニール片1件、骨1件、葉1件、不明1件だった。

- ・ 今後も食中毒や異物混入を起こさないためにも、このように事故につながらなかったヒヤリハット事例の分析・検討を行い、今後も引き続き安全で安心な給食提供を行ってまいりたい。

東久留米市の給食費無償化について（事務局）

- ・ 東久留米市でも、令和6年度の3学期から、市立小中学校に在籍する児童・生徒の保護者の皆様からは学校給食費を納付いただく必要がなくなった。原則としては、学校給食に関することを定めている法律である「学校給食法」において、「学校給食を運営するのに必要な経費のうち、一定の部分は学校給食を受ける児童又は生徒の保護者の負担とする。」とされている。一方で、東京都において保護者負担軽減等を目的とした補助金が創設されるなど、財政支援が行われることとなり、本市においてもこれを財源として、学校給食費の保護者負担を無くすべく学校給食費相当分について、市が学校に対して補助を行う形で、無償化を開始した。

4 学校給食についての懇談

委員からの意見等

（保護者委員）

中学校給食について、小学校と同じように食缶方式にする予定はないか。

（座長）

食缶方式を希望する意見があることは承知しているが、スクールランチ方式を採用するに至った際の様々な制約は、今に至って解消されているといった状況ではないので、現段階では食缶方式を検討する予定は無い。

（保護者委員）

昨今、米の価格やその他食材価格が高騰しているが、給食ではどのように購入しているか。

（栄養士委員）

米については、市内の給食食材登録業者であるお米屋から、値段が高すぎないもので、よりおいしいものを納品してもらっている。

（保護者委員）

この夏も給食室の中はかなり暑くて、調理員の方々は大変な状況であると聞いている。現段階の対策などを伺いたい。

（座長）

他市の空調を付けた給食室を視察したが、現場の方の話では、ほとんど効かず、特に

加熱調理に従事する人の状況は変わらないとのことであった。本市も建物自体が古く断熱効果も低いこと等から、調理室に空調を設置しても十分な効果が得られないのではと考えている。この状況に対しては、食品庫へエアコンを設置して、調理員がクールダウンできるスペースを確保したり、暑さ対策用の消耗品を購入したりすることで対応を図っている。

(保護者委員)

食材費の高騰に関して、米以外の食品についての対応状況を伺いたい。

(栄養士委員)

物資選定委員会を開催し、質、価格等を考慮し選定したものを市内で一斉購入し価格を抑えている。

懇談会（小学校）

(保護者委員)

- ・子どもは揚げパンが好きだと言っている。ジャンボ餃子も人気。
- ・給食の色々な食材を食べることができありがたい。また、みんなと一緒に食べることで、食べてみようという気持ちが出てきている。
- ・基本シンプルなものが好きな子どもだったが、給食がきっかけで色々入っているものも食べられるようになった。給食のレシピも活用させてもらっている。
- ・自分が小学生の時よりも、品数が少ない気がする。
- ・最近はどうぶりものも多く、少なく感じるが子どもはおいしいと喜んでいる。
- ・給食が好きと言っている。また、食育（そら豆のさやむき）でそら豆が好きになった。そういう経験がありがたい。
- ・幼稚園のお弁当から小学校の給食で温かい出来立てのものになり、苦手なものも完食出来るまで成長した。
- ・試食会で揚げパンが出て、保護者から懐かしいとの声が多く好評だった。
- ・給食室が暑い中、調理員の皆さんに頑張ってもらっている。暑さ対策を考えてあげてほしい。
- ・乳糖不耐症で牛乳が飲めないが、月に一回麦茶を出してもらっておかわりが出来て、ありがたい。
- ・ルウまで手作りしていてすごい。子どもはよく食べている。
- ・衛生にも気を付けていて、そういったことをもう少し表に出していいと思う。とても感謝している。
- ・冷凍桃が、美味しかったと言っていた。
- ・調味料を変更できないか。ミネラルバランスも重要だと思うので、調味料の質を上げて欲しい。

- ・食材の質にもこだわって欲しい。オーガニックの食材を使用している自治体もある。
- ・東久留米市は、他自治体に比べて給食に魚介類が多く入っていて素晴らしい。献立の魚の数を数えている。
- ・中学校給食も食缶で届けて欲しい。小学校と同じ形態のものを食べさせてあげたい。小平市の給食センターに行って試食したが、とてもおいしかった。低温殺菌牛乳も使用しており、財政の問題もあると思うが差を感じる。
- ・子どもも簡単に作れるレシピを LINE 配信して欲しい。
- ・子どもが親に手紙を出すのが遅いので、LINE がありがたい。
- ・子どもにアンケートを取って人気のあったメニュー、簡単なものを LINE 配信で教えて欲しい。
- ・校長先生がホームページに給食の写真を載せてくれている。子どもからの情報だと分かりにくいのが、写真だとお肉の量、たんぱく質量などが分かりやすいので、給食での不足分を家でどのくらい出せばよいか、考えやすい。
- ・他県でコンビニのチキンを出したところがあるが、そのようなことはしないで欲しい。

(給食受託事業者委員)

- ・献立面で、最近では家庭で洋食を食べている児童が多いため、あえて和食を増やしていると聞いている。魚などが苦手な子にも食べてもらいたい。
- ・給食室へのエアコン設置について話があった。このような環境だと調理員の募集をしてもなかなか人が集まらず、また採用しても長続きしないため、社員の異動で対応している。
- ・調理員を加配して早退などに備えている。

(栄養士委員及び給食調理員委員)

- ・給食で残っていることが多いものは、家庭であまり食べ慣れていないものが多い。給食で初めての食材を食べることが多いようなので、家庭でも色々なものを食べさせて欲しい。
- ・給食は量や食材の種類が多さから、様々な出汁が出ておいしくなっていると思う。旬のものや特色のあるものなど取り入れ、味やバランスも考えて作っている。
- ・子どもの成長の過程として、たとえ食べられなくても、その料理、食材との出会いが生まれる中で、大人になってから給食で食べたことがあるから食べてみようという、最初の一歩の気持ちになってくれたらと思っている。
- ・価格高騰等が原因で品数が少なくなることは無いが、設備、食器、人員などは限りがあるため、日によってシンプルに見えてしまうことはあると思う。一日ごとの給食も栄養価等考え作成しているが、基本1週間及び10日間で学校給食栄養摂取基準を満

たすように献立を作成している。九州で話題になっていたが、唐揚げを例にあげるなら、一個で学年によって大きさを変えるなどの工夫はしている。

- ・栄養士と調理員は一か月分の献立をだいたい一か月前に打ち合わせをし、料理の組み合わせや食器や調理器具などに不足がないかも含め、調理工程を話し合っ調整している。
- ・栄養士は調理員と調理時間や作業場所、衛生面などについても意見をもらいながら献立をたてている。

懇談会（中学校）

（保護者委員）

- ・うちの子どもにとっては量が多いようで、今日も残してしまったと言っていた。
- ・スクールランチは冷たい、小学校は自校調理でおいしかったと言っている。
- ・子どもはランチを3年間食べていたが、あまり量が食べられない子にとっては量が多いようで、パンだと食べきれないと言っていた。逆によく食べる子にとってはご飯だと少なく、パンだと足りている。
- ・ランチにおにぎりやパンの補食を持っていきたいと考えており、学校とも話をしたいが、市としての意見も聞きたい。

⇒（座長）

- ・補食を持ってきた場合の懸念点としては、アレルギーの発症などがあつたときに原因がわかりにくくなること等がある。一方で、スクールランチでは盛り付け量を変えることが難しいこともあり、補食を持ってきた場合でも、それを取り上げるような指導をすることを学校にお願いしているわけではない。ただ、足りない生徒には、おかわりご飯を準備しており、残食を減らす取り組みも必要であるので余つたランチを食べるといったことを、補食よりも優先してもらいたいと考えている。
- ・子どもは小学校給食も美味しかったが、スクールランチも美味しいと言っている。
- ・スクールランチに何の文句もない。
- ・スクールランチでは量が足りないようで、以前は弁当が多かつた。無償化後はランチが多いが、やはり量は足りないようだ。
- ・中学生の子は特に困っていないが、小学生の子は量が少ないと言つて、帰つてくるとすぐに何かを食べている。
- ・基本出された物は食べるのが当たり前だと思つており、特に困っていない。
- ・子どもは小柄で、給食を全部食べられるタイプではないので、1、2年生は弁当だったが、今は牛乳もしっかり出るからランチを食べさせている。
- ・ご飯はいいが、おかずが冷たいので食べにくいと言つていた。
- ・A Bを選べるので、好きな方を自分で選んで、親には絶対選ばせなかつた。

- ・果物などデザート系がありがたい。
- ・子どもは給食時間が短く、食べきれないと言っている。
- ・食事量としては満足だが、運動系の部活をしているとご飯の量が足りないのでは。お金を出してでもいいので大中小選択できたらいい。
- ・欠席者のランチをおかわりできるのは聞いているが、A B注文が違くと反対の物は食べられない。余ってしまったもったいないと子どもは言っている。
- ・9月からのスープを楽しみにしている。
- ・LINEの活用も大事だが、アナログでできることも残してほしい。

(給食受託事業者委員)

- ・2学期からあたたかい献立の提供が始まるので、市と協力しながら、生徒の皆さんが喜んでもらえるような給食を提供してまいりたい。

5 その他

今後の協議会の開催について

- ・次回以降の開催日程については11月13日(木曜日)に2学期分、1月23日(金曜日)に3学期分を午後3時から実施予定。会議開催一か月前を目途に学校を通じて通知する。
- ・欠席の場合、代理出席をされる場合、並びに、複数人で参加される際には名簿の準備の関係から予め学務課に連絡をお願いしたい。